

# 2022年3月期 第2四半期決算説明資料

---

2021年12月

高松機械工業株式会社(証券コード：6155)

**TAKAMAZ**

# 目次

---

1

第2四半期連結決算内容

2

事業戦略

(参考) 会社概要

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。記載内容は、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめとした経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

## 第 2 四半期連結決算内容

---

# 第2四半期連結累計決算状況

(百万円)

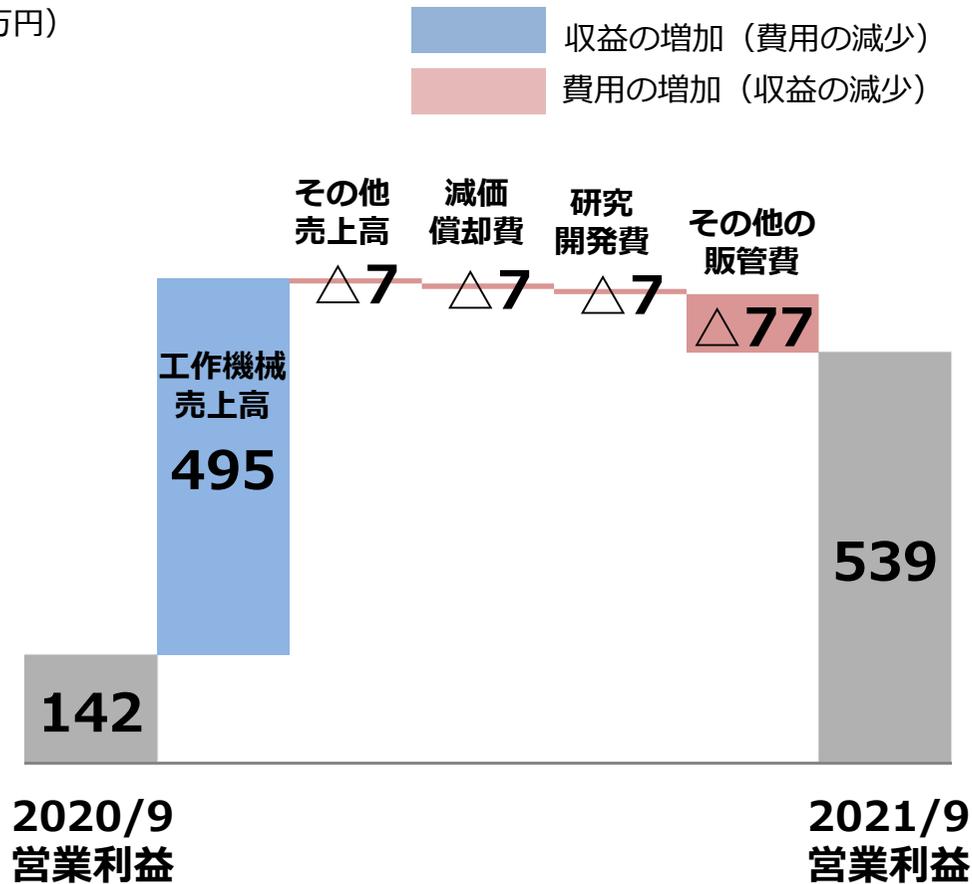
	2020/9		2021/9		対前期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減	比率 (%)
売上高	7,261	100.0	<b>8,009</b>	<b>100.0</b>	+ 748	+ 10.3
売上原価	5,655	77.9	<b>5,922</b>	<b>73.9</b>	+ 267	+ 4.7
売上総利益	1,606	22.1	<b>2,087</b>	<b>26.1</b>	+ 480	+ 29.9
販管費	1,463	20.2	<b>1,547</b>	<b>19.3</b>	+ 83	+ 5.7
営業利益	142	2.0	<b>539</b>	<b>6.7</b>	+ 397	+ 279.4
経常利益	196	2.7	<b>571</b>	<b>7.1</b>	+ 374	+ 190.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	0.5	<b>393</b>	<b>4.9</b>	+ 359	+ 1,050.3

- ✓ 日本工作機械工業会は、2021年暦年の業界受注総額見通しを1兆2,000億円から1兆4,500億円に引き上げるなど、内需・外需ともにコロナ禍前の水準に回帰しつつある
- ✓ 売上高は、工作機械需要の持ち直しの影響を受けて改善
- ✓ 利益面は、売上改善に加え、経費圧縮施策の成果や営業経費の減少により改善

# ■ 連結累計決算状況

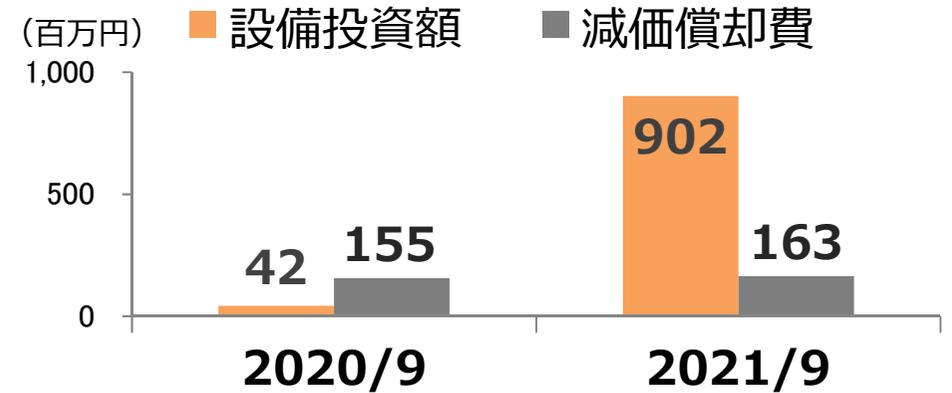
## 営業利益増減分析

(百万円)



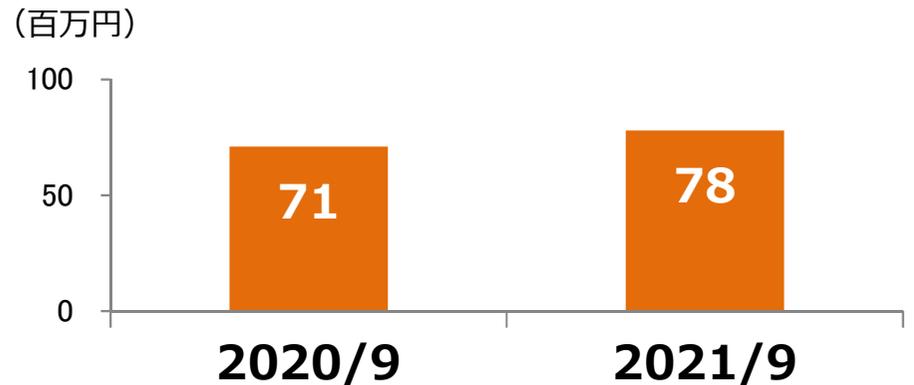
## 設備投資額・減価償却費

(百万円)



## 研究開発費

(百万円)

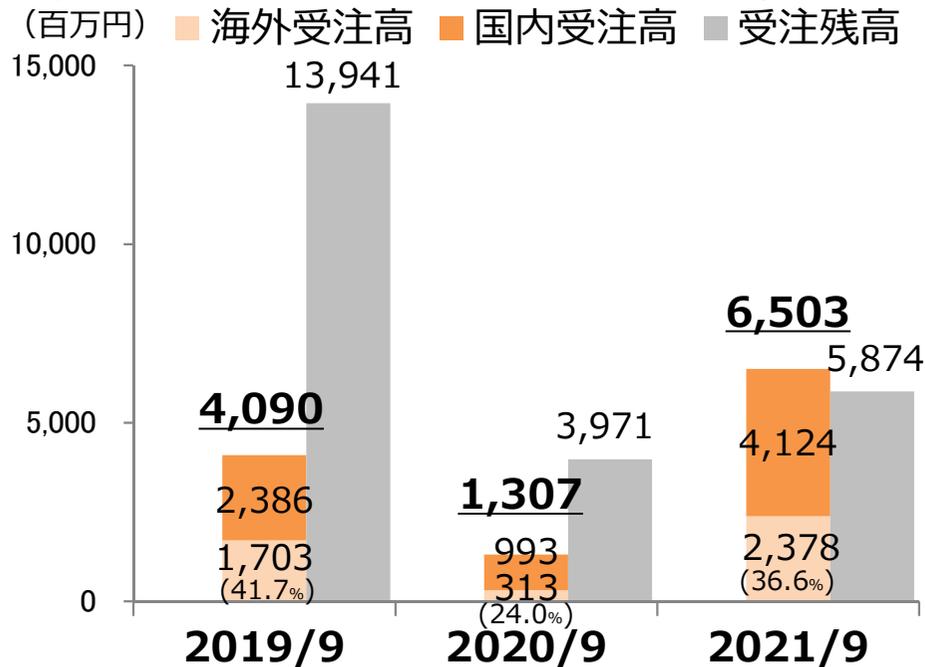


- ✓ 営業利益は、工作機械売上高の増加に伴い大幅に増加
- ✓ コロナ禍によって経済活動が制限された影響により、営業経費が減少
- ✓ 当期設備投資額の内容は、主に2022年4月に操業開始を予定している「あさひ工場」の建設仮勘定（8億80百万円）

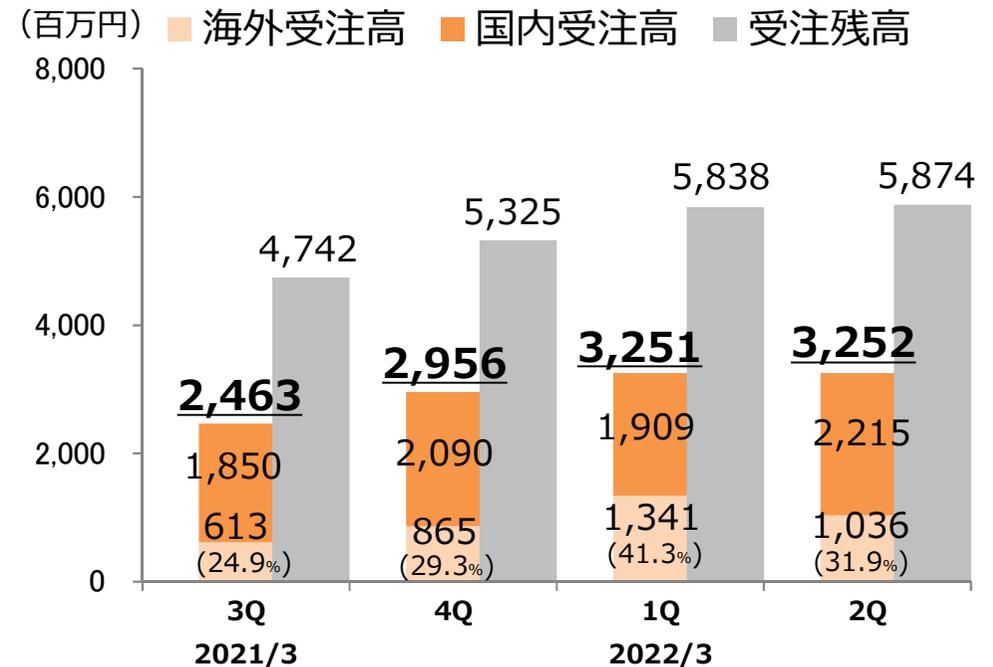
# ■ 工作機械事業の状況

## 受注高・受注残高の推移

第2四半期累計期間



四半期会計期間



### 決算のポイント

- ✓ 国内の自動車関係等の設備投資意欲の高まりが影響
- ✓ 見通しの不透明感等から、ユーザの設備投資に温度差
- ✓ 四半期別では、受注高・受注残高ともに継続して増加傾向

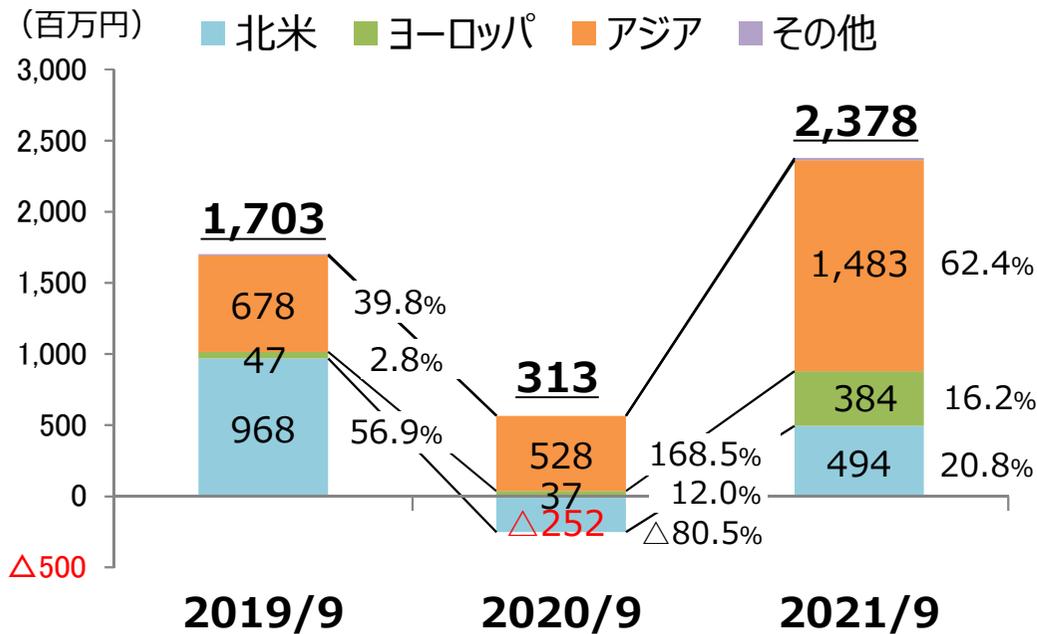
### 取り組み実績

- ✓ 受注ニーズのあるお客様へのソリューション提案の推進
- ✓ 当社主力受注先である自動車関係以外の新市場（建機、半導体等）や新しい加工品分野への積極的な営業活動

# ■ 工作機械事業の状況

## 海外受注高の推移

### 地域別



### 主要な国別

(百万円)

	2019/9	2020/9	2021/9
中国	357 (△53.0%)	160 (△55.1%)	<b>624</b> (+288.7%)
アメリカ	1,069 (+7.2%)	△297 (-)	<b>377</b> (-)
タイ	172 (△80.7%)	263 (+53.4%)	<b>343</b> (+30.1%)
ベトナム	28 (△51.1%)	54 (+90.9%)	<b>312</b> (+471.4%)
ドイツ	35 (-)	16 (△53.0%)	<b>244</b> (+1,366.5%)

※ %表示は対前年同期増減率

### 決算のポイント

- ✓ 活動制限が緩和され設備投資意欲が高まる中国で大幅に回復
- ✓ 経済活動の回復に加え、新規ディーラからの受注により、ヨーロッパ向けが増加

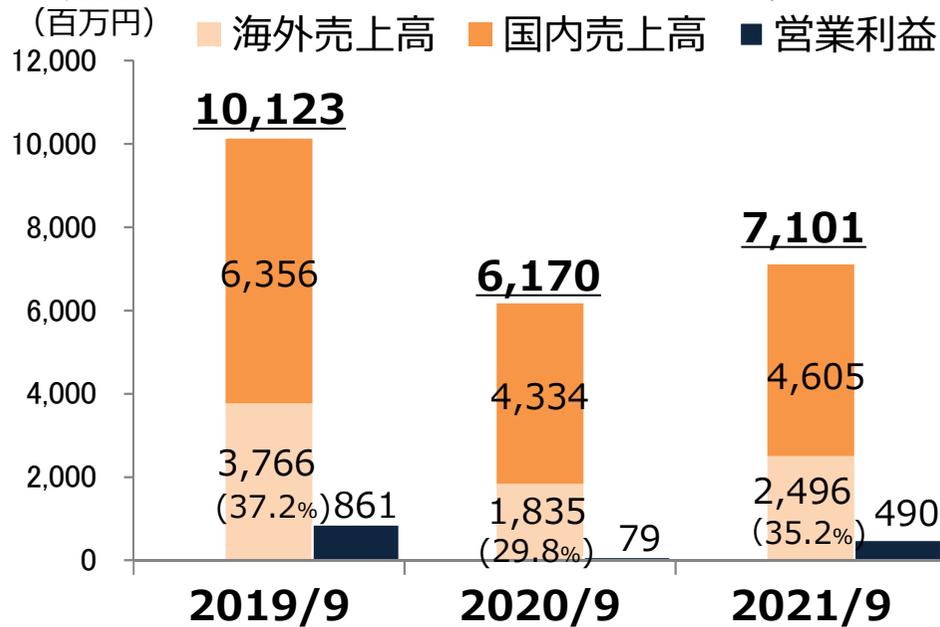
### 取り組み実績

- ✓ コロナ禍に対応し、WEBを利用したミーティング、製品・技術のPR販促、ディーラ教育の推進

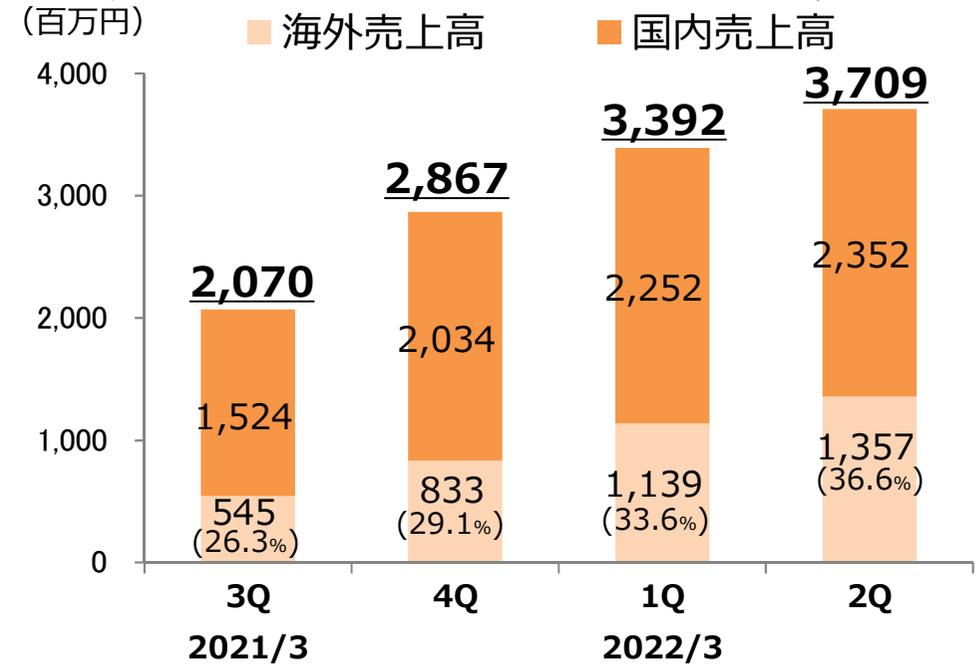
# ■ 工作機械事業の状況

## 売上高・営業利益の推移

第2四半期累計期間



四半期会計期間



### 決算のポイント

- ✓ 受注回復に伴い、売上高及び営業利益が改善
- ✓ 海外の景気回復に合わせ、海外売上高・比率が増加傾向
- ✓ 売上高は2021年3月期 3Qに底打ち後、継続して回復

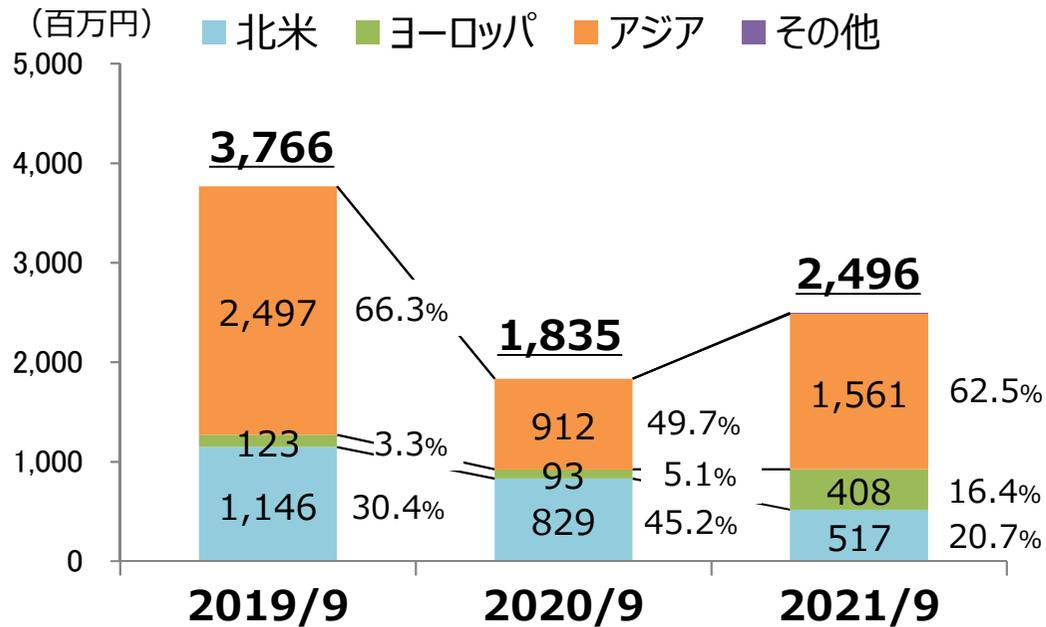
### 取り組み実績

- ✓ 複雑化・多様化するユーザーニーズに応える生産対応
- ✓ 先行手配や代替品対応等による部品最適調達の実施
- ✓ 原価低減等、コストダウンの推進による原材料高の吸収

# ■ 工作機械事業の状況

## 海外売上高の推移

### 地域別



### 主要な国別

(百万円)

	2019/9	2020/9	2021/9
中国	1,333 (+8.0%)	229 (△82.8%)	<b>656 (+186.0%)</b>
タイ	592 (+13.7%)	278 (△53.0%)	<b>456 (+64.1%)</b>
アメリカ	1,077 (+98.3%)	710 (△34.0%)	<b>320 (△54.9%)</b>
ドイツ	33 (△69.4%)	29 (+13.0%)	<b>232 (+697.8%)</b>
ベトナム	117 (+1.6%)	87 (△25.0%)	<b>181 (+106.9%)</b>

※ %表示は対前年同期増減率

### 決算のポイント

- ✓ 北米向けでは、前年下期の受注高不足が影響し減少
- ✓ タイ、中国では、受注状況改善により売上高増加
- ✓ ヨーロッパ向けでは、新規ディーラへの販売が貢献

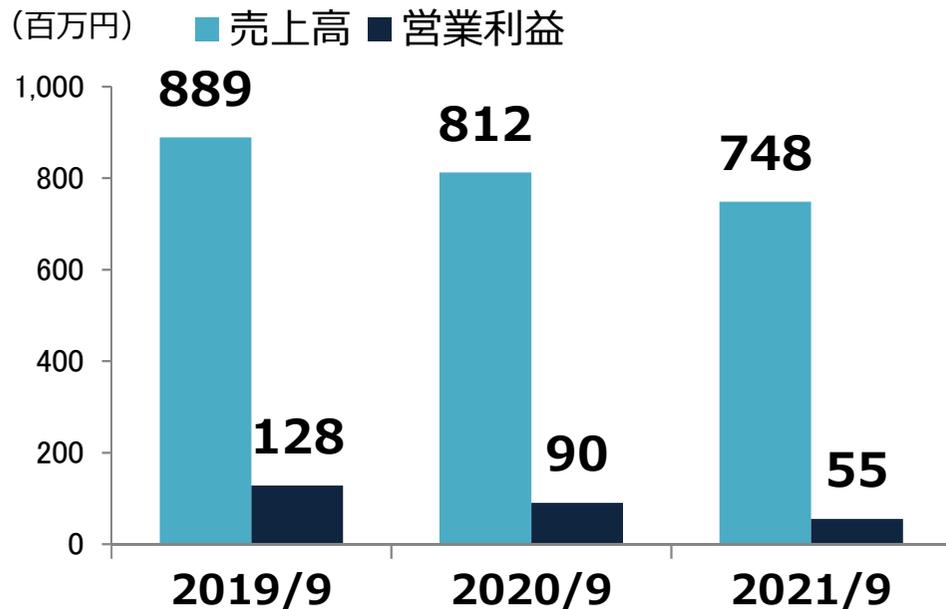
### 取り組み実績

- ✓ ディーラへの販促強化等による現地在庫機販売の推進
- ✓ アセアンディーラに対する営業支援の強化
- ✓ 渡航を必要としないWEB立会サービスを実施

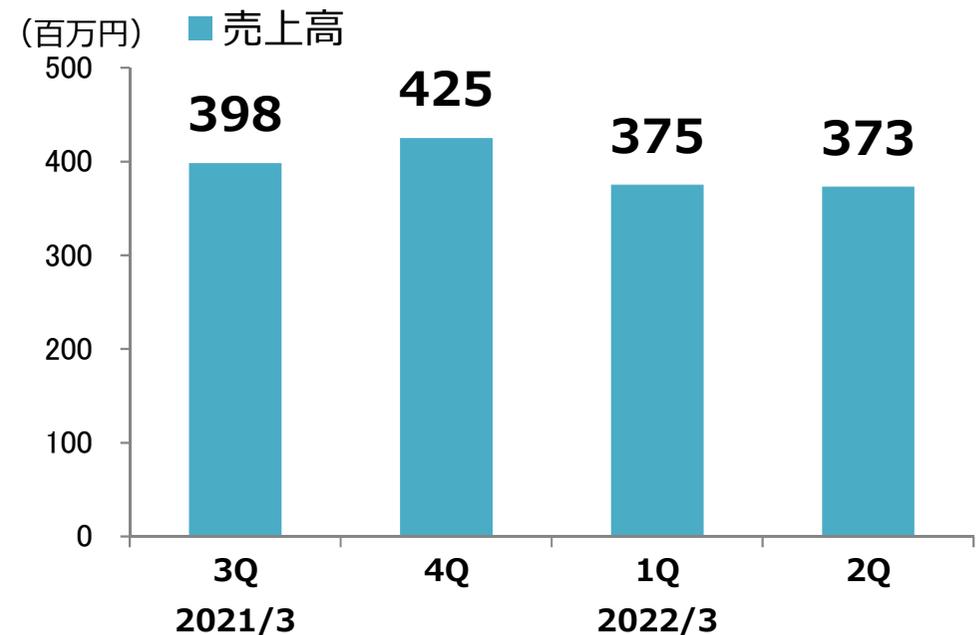
# I T 関連製造装置事業の状況

## 売上高・営業利益の推移

第2四半期累計期間



四半期会計期間



決算のポイント

- ✓ 半導体関連の需要増加による旺盛な引合・受注
- ✓ 一部取引先からのリピート受注減少等が影響し、売上高、利益ともに減少

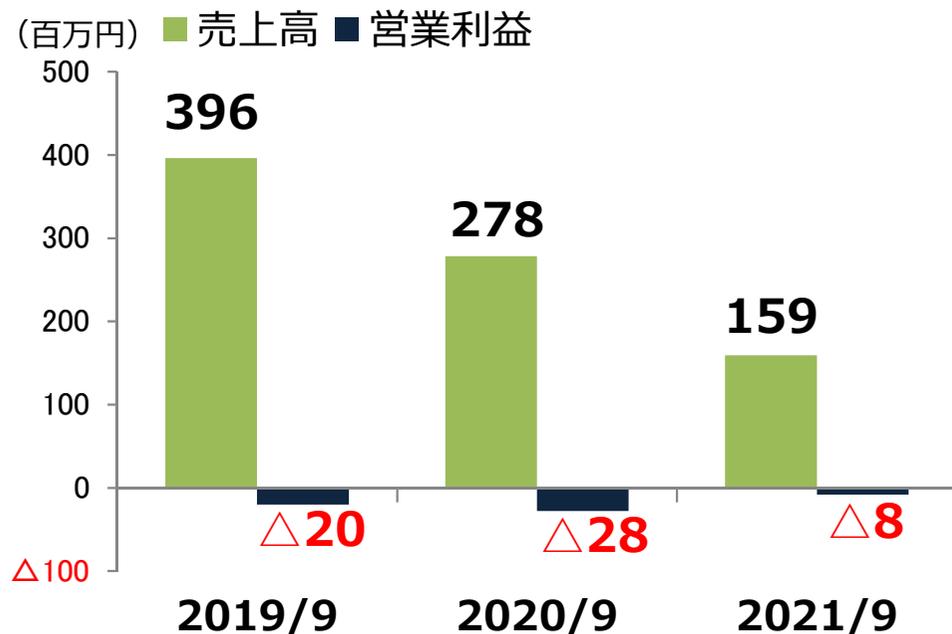
取り組み実績

- ✓ 安定生産のための適正な在庫管理及び部品調達
- ✓ WEBを活用した新規取引先開拓活動及び既存取引先に対する営業活動の推進

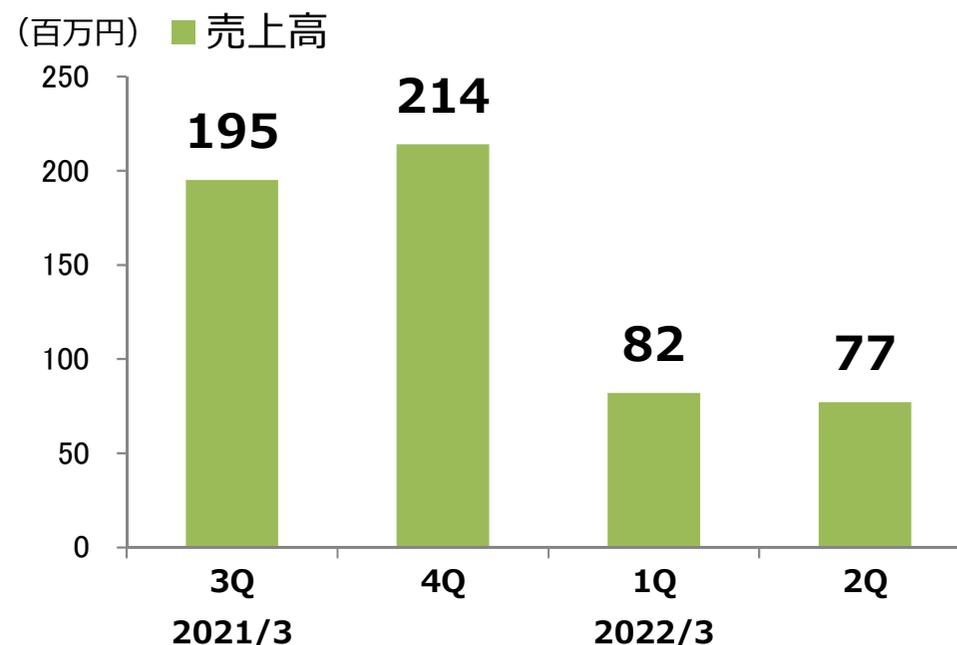
# 自動車部品加工事業の状況

## 売上高・営業利益の推移

第2四半期累計期間



四半期会計期間



決算のポイント

- ✓ 「収益認識会計基準」の適用により、売上高が2億22百万円減少（利益に対する影響はなし）
- ✓ 生産高は前年同期を上回り、利益改善

取り組み実績

- ✓ 数量変動に対応した加工ラインの最適稼働
- ✓ 今後の事業拡大に向けた継続的な営業活動の実施により、新規受注を獲得

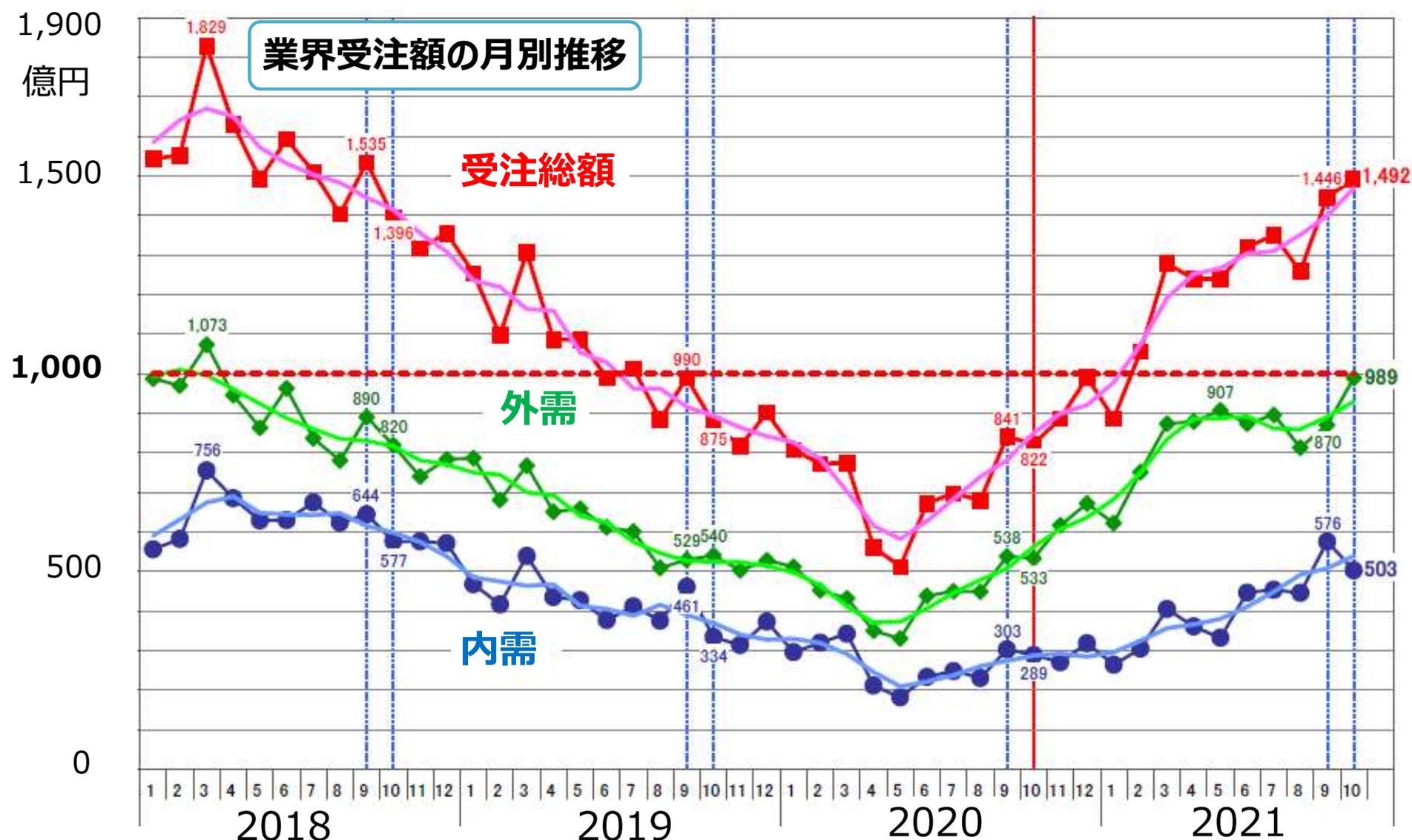
2

## 事業戦略

---

# 工作機械業界の動向

(出典：日本工作機械工業会)



- ✓ 2020年5月を底に回復し、2021年2月には1,000億円を超え、増加傾向が継続
- ✓ 部品不足や原材料価格・輸送費の高騰等の影響には注視が必要
- ✓ 人手不足を補うための自動化・効率化、デジタル化のための投資に潜在需要

# 業績予想

(単位：百万円)

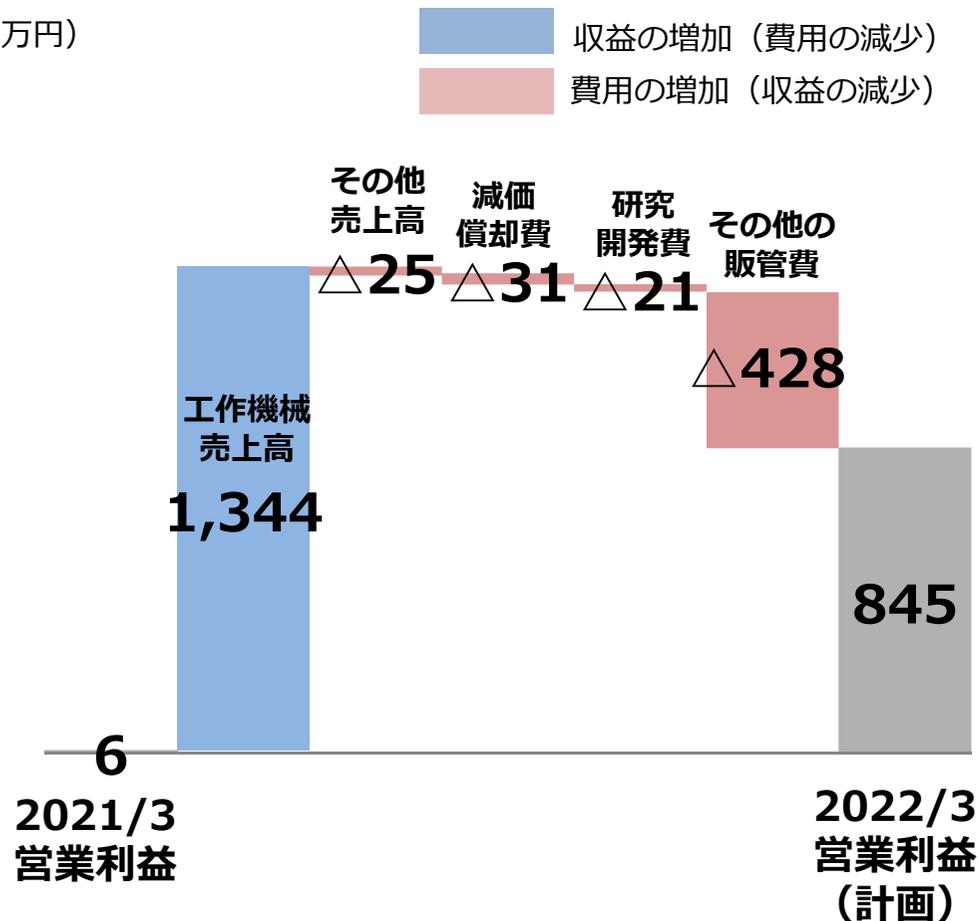
	2021/3	2022/3			
		当初予想	修正予想	対前期比	当初予想比
受注高	6,727	10,800	<b>13,455</b>	+100.0%	+24.6%
売上高	13,432	15,317	<b>16,448</b>	+22.4%	+7.4%
工作機械事業	11,108	13,431	<b>14,530</b>	+30.8%	+8.2%
I T 関連製造装置事業	1,636	1,575	<b>1,594</b>	△2.5%	+1.2%
自動車部品加工事業	688	311	<b>323</b>	△53.0%	+3.9%
営業利益	6	566	<b>845</b>	+12,838.6%	+49.2%
営業利益率	0.0%	3.7%	<b>5.1%</b>	+5.1ポイント	+1.4ポイント
経常利益	233	655	<b>915</b>	+291.7%	+39.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△115	450	<b>629</b>	—	+39.8%
1株当たり当期純利益 (円)	△10.56	41.29	<b>57.73</b>	—	+39.8%

- ✓ 工作機械需要の回復に伴う売上高・利益の見通し改善により、業績予想を上方修正
- ✓ 自動車部品加工事業においては「収益認識会計基準」の適用により売上高が減少  
(生産高においては昨年を上回る見込み)

# 業績予想

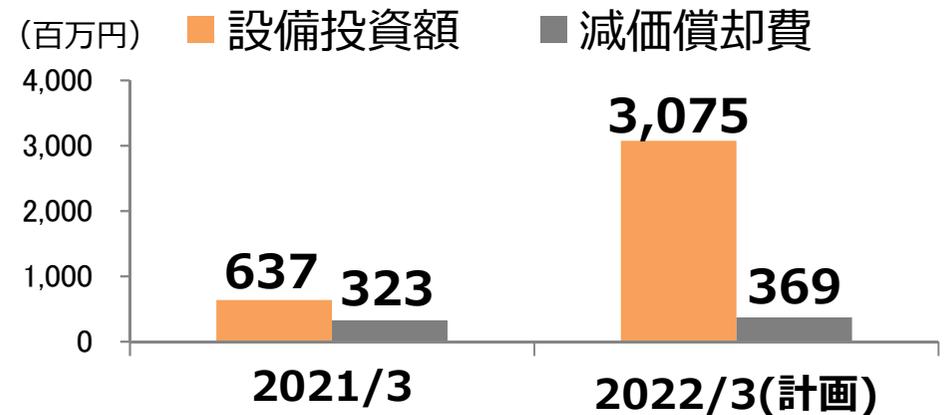
## 営業利益増減分析

(百万円)



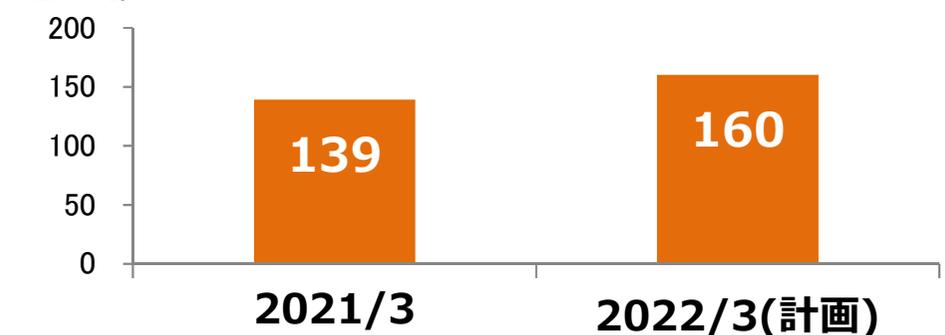
## 設備投資額・減価償却費

(百万円)



## 研究開発費

(百万円)



- ✓ 工作機械売上高の回復が大きく貢献
- ✓ 原材料価格の高騰によるコスト増加や営業活動再開等による経費増加を見込む
- ✓ 設備投資額は、約90%があさひ工場関係

# ■ 主要戦略

## 1. 受注高の拡大

工作機械需要が回復する中で、  
より多くのニーズをキャッチし、受注獲得

### ● 新市場・新しい加工分野の開拓

- ・ 工作機械ニーズが見込める重点業種・ユーザに対するアプローチの強化
- ・ 提携他社製品も活用した新規参入

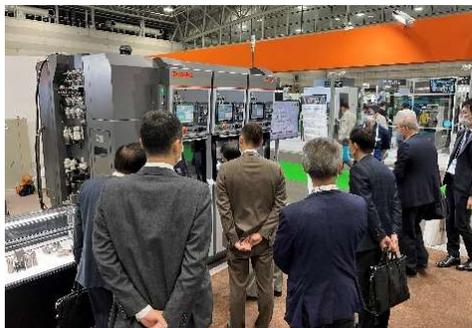
当社の主力受注先である自動車関係以外からの受注獲得

■ 建機 ■ 半導体 ■ 船舶 ■ 農機 (ほか)

- ・ ユーザからの情報収集及び部門間連携によるEV対応仕様の検討

### ● リアルとデジタルの両面から営業活動を推進

MECT2021 (名古屋) 出展



HP上にコラムページ開設、  
バーチャル展示会をリニューアル



# ■ 主要戦略

## 2. 利益の改善

利益率を重視した製品販売強化とともに、  
引き続き費用の削減や抑制を徹底

### ● 粗利益の拡大

- ・ 既存システムやユニットを組み合わせた製品群の積極的提案
- ・ ITを活用した営業活動の効率化・合理化の推進

### ● 原材料価格の高騰、部品不足への対応

- ・ 部品の先行調達や代替品の活用
- ・ 新規取引先の開拓
- ・ 原材料価格の高騰に対応する原価低減活動及び製品価格転嫁の検討

#### 原価低減プロジェクトチームによる活動

- ✓ ロータ・周辺装置の付帯業務低減
- ✓ 治具製作等による組付け工数低減
- ✓ 加工工程見直しや工具変更等による加工工数低減

# ■ 主要戦略

## 3. 新工場移転プロジェクトの全社的推進

挑戦し成長し続けるための

フラッグシップ・ファクトリー

生産体制強化に向けて計画通り進捗中

- ✓ 名称を「**あさひ工場**」に決定
- ✓ 2022年2月：竣工式（予定）
- ✓ 2022年4月：操業開始（予定）



12月3日時点の様子

- 持続的な成長の実現
- 売上高300億円を目指せる体制へ
- SDGs、カーボンニュートラルへの取り組み強化
- 営業フロアのフリーアドレス等、新しい働き方の実現



# サステナビリティ

サステナビリティ  
をめぐる動きが  
活発化

企業価値の源泉であるモノづくりによって、  
持続可能な社会の実現に貢献

地球環境負荷軽減

社会貢献

社員と会社の持続的成長

経営基盤強化

## ■ 省エネ・省スペース製品の開発

### ● XT-8MY

クラス最小のフロア  
スペースを実現

↓  
他社比約20%減



### ● XV-3

3つの主軸を1台に搭載  
(1台で3台分の働き)

↓  
生産性向上・省スペース  
の追求



## ■ カーボンニュートラルの推進

## ■ 省エネ機器設備の導入など企業活動での省エネルギー化

→ あさひ工場に地下水を利用した空調設備（プレクーリングシステム）を導入

## ■ アフターコロナ、ウィズコロナを踏まえた企業活動の推進

## ■ 働きやすい、働きがいのある職場環境の整備

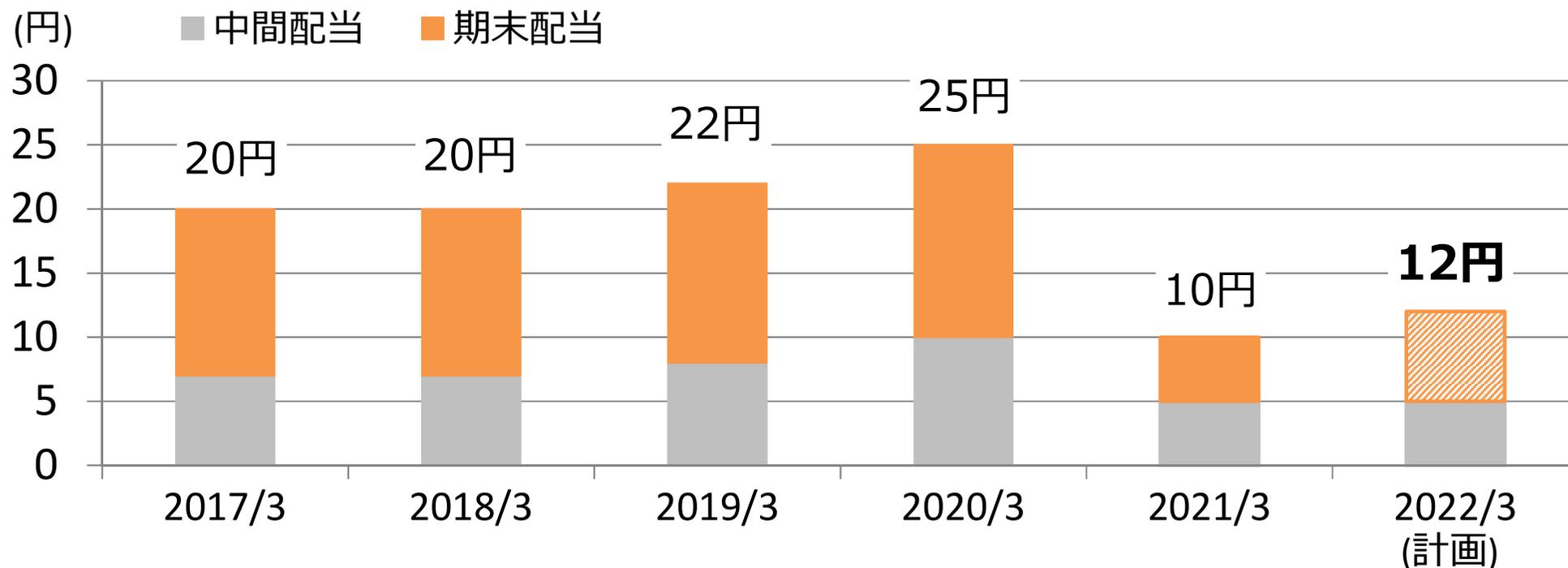
# 株主還元

## ● 自己株式の取得

- ✓ 取得しうる株式の総数：110,000株（上限）
- ✓ 株式の取得価額の総額：100,000,000円（上限）
- ✓ 取得期間：2021年11月1日～2022年3月31日

## ● 配当政策

- ✓ 中間配当 5 円実施、期末配当 7 円予定
- ✓ 前期10円に対し、2 円の増配となる年間12円を計画



# (参考) 会社概要

---

# ■ 会社概要



会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
所在地	石川県白山市旭丘1-8
資本金	18億35百万円
発行済株式総数	1,102万株
正社員数	連結：623名 単体：545名（2021年9月末現在）
上場取引所	東京証券取引所市場第二部（証券コード 6155）

# 事業内容

## 工作機械事業 (111億8百万円)

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス

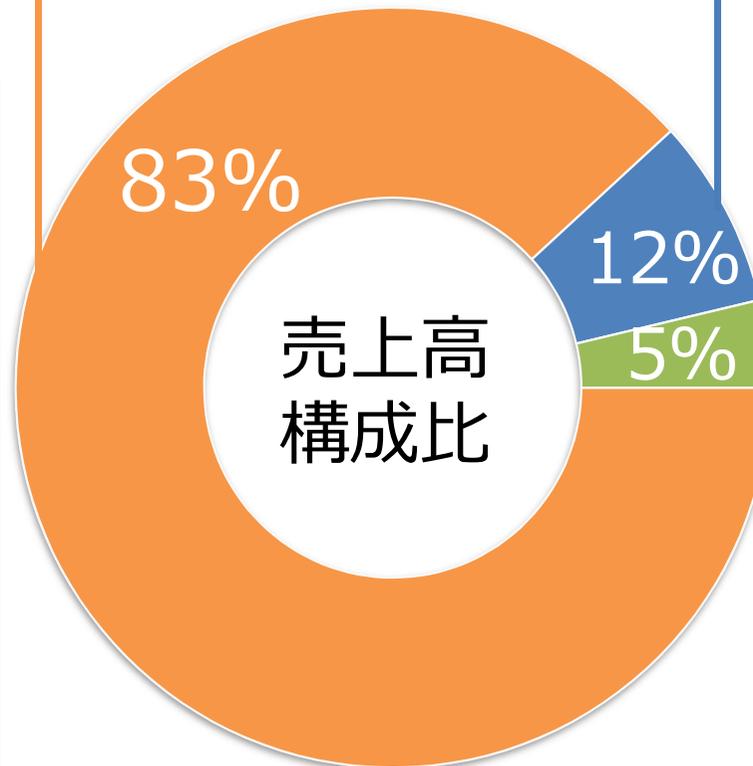


- コレットチャックの製造、販売



## I T 関連製造 装置事業 (16億36百万円)

液晶基板や半導体  
などに関する  
製造装置の製造



売上高  
構成比

## 自動車部品 加工事業 (6億88百万円)

自社製旋盤による  
自動車部品の加工



# ■ 営業拠点・グループ会社

国内営業拠点：9か所

関東、大阪、名古屋、  
浜松、厚木、東北、  
北陸、信越、広島

国内グループ会社：2社

- タカマツエマグ
- FTJ

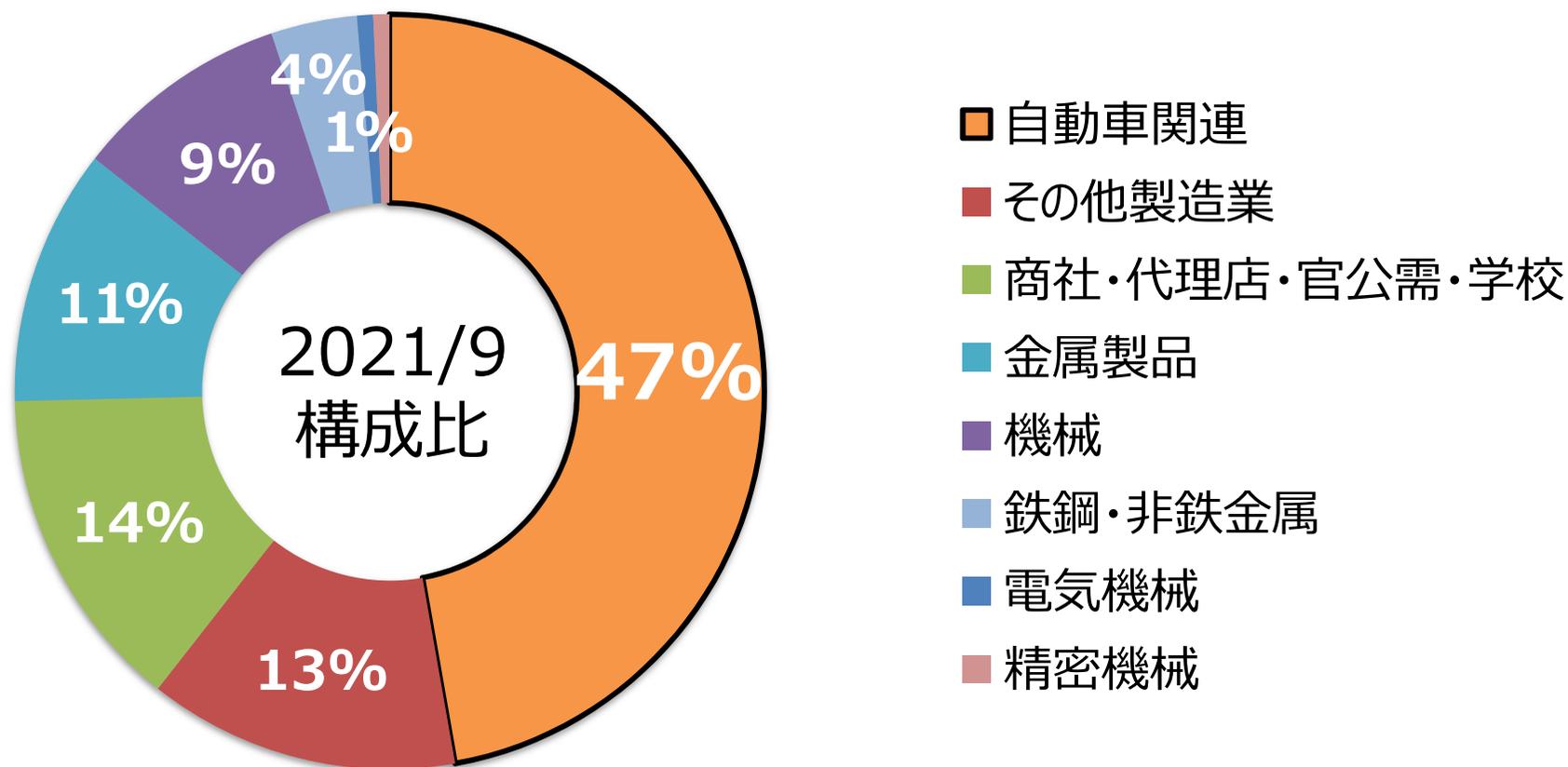
海外グループ会社：9社

- TMU (アメリカ)
- TME (ドイツ)
- TMT (タイ)
- TPMP (タイ)
- 喜志高松 (中国)
- 友嘉高松 (中国)
- PTTI (インドネシア)
- TMVN (ベトナム)
- TMMX (メキシコ)

国内では、自動車産業が盛んな地域での営業拠点の開設  
海外では、ユーザの海外進出に対応すべくグループ会社の設立

迅速かつ適切なサービス・メンテナンスの提供

# 業種別受注先の状況



## ➤ これまでの主な納入先

トヨタ自動車 ・ SUBARU ・ 日産自動車  
デンソー ・ マツダ ・ ヤマハ ・ ダイハツ ・ 本田技研  
三菱電機 ・ LIXIL ・ 東京計器

# ■ 当社製品による加工例

## 自動車関連



- ✓ 自動車のエンジンやミッション、足回りの部品など、幅広く使用される
- ✓ EV（電気自動車）・ハイブリッドカーの部品にも使用される

## その他加工事例

- 建設機械
- バイク
- 医療機器
- 航空機関連
- 家電製品

新しい市場・新しい加工品  
分野の開拓にも注力

# ■ 自動化技術

## ● 豊富なノウハウと製品群

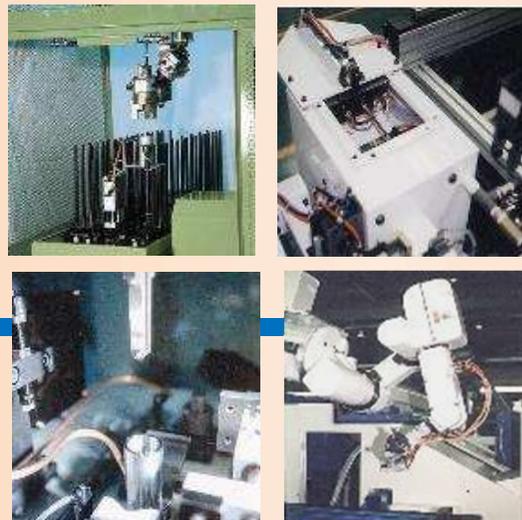
- 早くから自動化技術に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせお客様に最適の生産ラインを提供

## ● 設計～製造まで一貫した生産体制

自動化装置・システムを自社で開発



当社CNC旋盤



自動化装置群



お客様仕様の生産ライン

# ■ 多様な製品ラインナップ

## ユーザーニーズに応える製品開発

高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現

省エネ・省スペース

環境負荷の低減

機能を特化した戦略機種

## 生産サポートを行うシステム開発

お客様の生産性向上に寄与するシステムも自社で開発

### 「ServoROT-01」の開発

製品に組み合わせることで付加価値を向上

- ✓ 工作機械製品と組み合わせる自動化システム
- ✓ 昼夜を問わず無人運転を実現
- ✓ 安定供給・多台数管理も可能
- ✓ お客様の生産効率の大幅アップに寄与



# 営業体制

## 提案型営業

営業員全員がセールスエンジニア

技術的専門知識を備えた営業員が  
加工ラインや加工方法をその場で提案



## 地域密着型営業

国内・海外に広がるネットワーク

各地域のニーズに対応

ユーザからの  
リピート受注率 90%

# TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

